

こちら! おとな・り(re)社会部

第12回

ひだまり友遊会館の生涯現役情報ステーションへ
今すぐ役立つ情報を上手に活用

退職、子育て卒業などで自由な時間ができて何か始めたいと思ったとき、どこに情報があるか戸惑う人が多いもの。世田谷区では、生涯現役世代が社会の一員として元気に活躍できるよう、さまざまな形で活動の後押しを行っています。その手助けになる情報、知りたいことが生じたときは、ひだまり友遊会館1階の「生涯現役情報ステーション」へ。その活用方法を取材しました。

取材・文／木村万紀子



運営ボランティアの藤原道恵さん。「館内でWi-Fiがつながるのはこの部屋だけ!」



年4回発行のかわら版の表紙(第35号)

地域を色で識別できる工夫をした手作り会員募集カード

**運営ボランティアが情報を収集・整理・発信
生涯現役情報ステーションのデータベースがすごい!**

毎月2回発行される「区のおしらせ」が一番の情報源ですが、紙面に限りがあります。生涯現役世代が必要とする情報を調べたいとき、地域の活動に参加したいとき、一体、どこに相談しに行けばいいんだろう?

東急世田谷線「若林」駅から徒歩約6分、世田谷区役所からは約10分の「ひだまり友遊会館」。60歳以上の区民を対象とした趣味、学習、体操、サークル活動などに利用できる施設です。「生涯現役情報ステーション」はその1階、入ってすぐ右手の部屋にあります。

藤原道恵さんは80代にして現役の運営ボランティア。年4回発行

する「かわら版」の編集にも携わり、さまざまな情報を発信しています。

「生涯現役世代が欲しい情報を1カ所でまとめて見られるシステムがないことを痛感しました。そこで、区内で活動するサークル・団体などあらゆる情報を集め、分類整理して展示する、道案内役を目指す、情報ステーションという形ができてきました。現在、400〜500種のパンフレットを常備し、原則3カ月間は展示しています」と藤原さん。新しいサークルや団体などについても、運営ボランティアで手分けしてパソコンに入力し、データベースを更新しています。